

アウトリーチについて

野上大作

概算要求の文書より

- 設置場所の自治体では、本望遠鏡の設置に大きな期待をもっており、地元のみならずもっと広く、高校までの学校教育や社会一般への情報発信等も積極的に行っていく。宇宙への社会の関心は高く、これをきっかけに科学離れ問題解決の一助としたい。

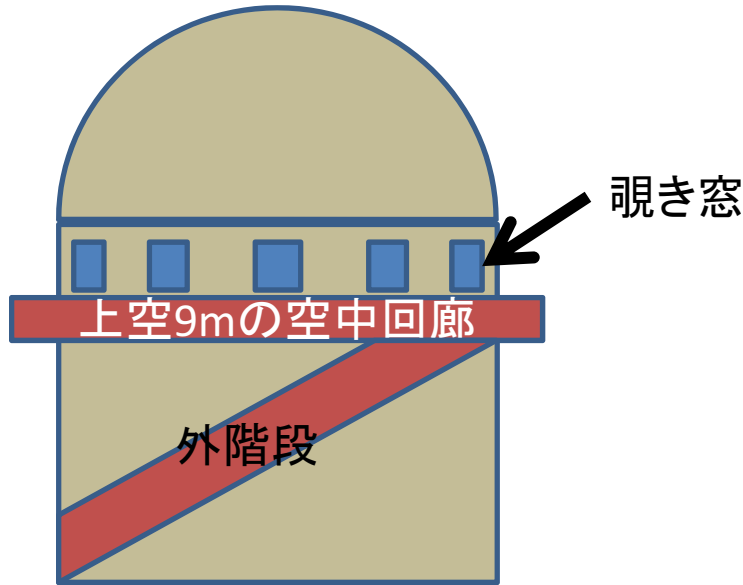
→アウトリーチ・社会連携活動はこの望遠鏡の重要なミッションの一つ

基本的な方針

- アウトリーチ活動は、望遠鏡の建設・調整、及び観測と研究に差し障りのない範囲で積極的に行う。
- 京大が浅口市(岡山天文博物館)・一般財団法人宇宙科学研究イニシアティブ(SARIF)などと協力して行う。
- 継続的に観測・研究・アウトリーチ活動を行うために、ある程度の経済活動は行う。

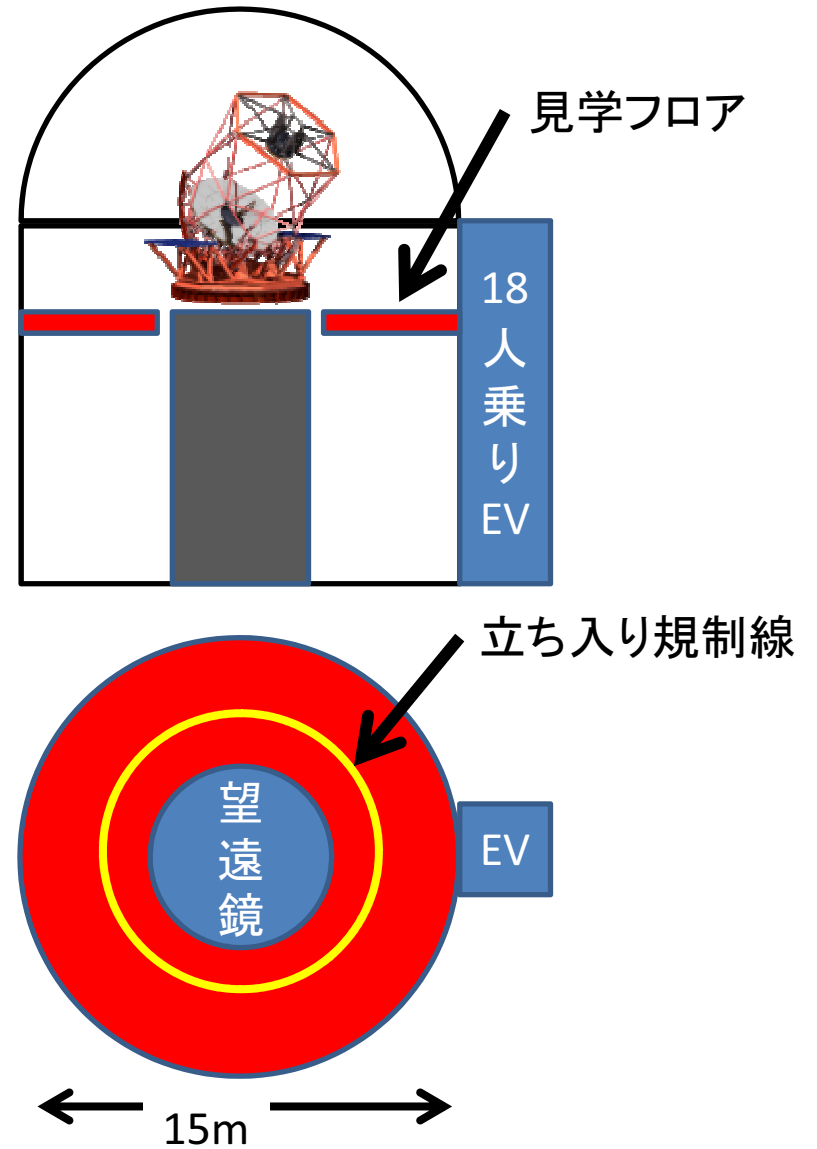
昼間

ドーム外から(基本的に毎日
自由見学可能)



空中回廊からは振り向け
ば瀬戸内海も一望！
視き窓から360度望遠鏡
を覗けます。

ドーム内で(ガイドがいるツアー形式)



部位は限定するが「触れる望遠鏡」に。

夜間

- 観望会・一般公開は(少なくとも最初のうちは)現在の岡山天体物理観測所と同じくらいのペースで(=年2回程度)
- 眼視装置は装着予定
- 4K(8K)カメラで撮った画像を大型モニタで大人数で見る＋ネット配信＋実況、という方法もあり？

最短のタイムライン(2015年1月案)

	現在	1年後		2年後		3年後		4年後			
		15/06	15/12	16/06	16/12	17/06	17/12	18/06	18/12	19/06	19/12
ドーム工事		16/03竣工予定									
望遠鏡移設											
調整											
部分公開											
完全公開											

	現在	15/06	15/12	16/06	16/12	17/06	17/12	18/06	18/12	19/06	19/12
外部見学											
内部見学(土日)											
内部見学(全日)											

制限事項(事前予告なく行われる可能性がある)

外部見学:ドームの回転を行うとき

内部見学:ドーム内作業を行うとき

浅口市との連携の現状

- 岡山天文博物館や浅口市教育委員会とは協議を進めている。浅口市長と京大総長との面会もあった。
- 浅口市へ赴いての講演会・出前授業も既に行ってきた。
- 望遠鏡の色は、岡山天文博物館が地元の子供達に決めてもらうように動いている。
- 浅口市も見学には協力すると申し出てもらっている。
- 博物館展示用の望遠鏡模型をつくらうとしている。
- 他の博物館展示の入れ替えも協力する予定。